

特集

どう活かす大型決算

14

新病院予定地は 定例会 ②

どうなる一括交付金 質疑 ③

指定管理者のあり方は 常任委員会 ④

高齢者住所不明問題は 一般質問 ⑧

ソフトボールと五つ鹿(明浜町) 市民の放課後 ⑱

第26号
9月
定例会
2010

2010.10.20発行



西予議会だより 第26号 <http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai.html>

E-mail gikai-chousa@city.seiyo.ehime.jp

西予市の子どもたち



夏休みのラジオ体操(野村町)

わが町の取って置きのスポット



鳴山公園(三瓶町)



今年の運動会



昭和30年頃の運動会

昭和30年頃、今年の運動会での一枚。干ばつなどで中止となった年もあるが、俵津地区の運動会は50回目の開催となった。

思い出のアルバム

(明浜町)

編集委員の眼

なんと長く暑い夏でした。異常な天候が地球上で生じています。自然環境・国際政治状況も地球規模で対応しなければならぬ中、この国(日本)はどこのどこの山を向いてどこへ進もうとしているのか。坂本龍馬のように「各藩を奔走し日本を変えた」ように、世界をまとめる英雄が生まれないかなと夢をみています。西予市でも日々、議員活動等を通じて意識改革が出来ればと努力しています。7月末に、編集委員会で視察研修を行い、それを活かして市民のみなさんがより読みやすいよう、行間を変えております。一般質問のレイアウトも変更してみました。いかがでしょうか…。(酒)



龍馬脱藩の道(惣川)

編集後記

暑かった、本当に暑かった今年の夏も、ようやく涼しくなり、秋らしくなってきました。秋は、読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋といえますように、精神的にも肉体的にも充実する季節です。また、運動会や秋祭りなどの行事も多く、大変にぎやかな季節でもあります。今回の表紙のテーマは、実りです。田んぼは一面黄金色に輝き、三瓶、明浜の山にはみかんも色づいてまいりました。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」いつまでも謙虚な気持ち忘れずに頑張りたいと思います。(沖)

- 編集委員
- 委員長 大竹 忠盛
 - 副委員長 宇都宮 明宏
 - 委員 兵頭 明学
 - 井上 勲
 - 沖野 健三
 - 酒井 宇之吉

新病院建設予定地決定

永長地区東池跡地決定理由

- ・周辺が平地で、療養に適し、環境も良い
- ・早期着工が可能
- ・地域医療再生計画では平成25年度内に着工が条件
- ・国道56号から近く県道宇和・八幡浜線に接している
- ・土地の広さ約1万8千㎡で駐車場も充分確保できる
- ・野村病院との機能分担、地域特性がはかられる



永長地区東池跡地

宇和球場不採択理由

- ・インターに近く条件は良いが都市公園法をクリアするために早期着工が難しい
- ・平成29年国体に向けて準備が間に合わないこと
- ・球場改修の補助はあるが移転新設の補助はない

現宇和病院不採択理由

- ・理想的な配置が困難
- ・車両の進入に不便

総額 3億3千695万円補正

庁舎建設

庁舎建設事業

5千657万円

電気設備工事、給排水衛生設備工事、宇和保健センター改修工事の増額分及び外構工事の減額に係る経費

スプリンクラー整備

総合福祉会運営補助事業

1千350万円

特別養護老人ホームあけはま荘のスプリンクラー新設工事に対する補助金

公共施設集落排水整備

農業集落排水公共施設整備事業

414万円

多田地区及び明間地区農業集落排水施設に、保育所・公民館・小学校等公共施設を接続するための経費

庁舎管理

給与支給事業

139万7千円

新庁舎完成後の職員の入退庁管理を行うためのICカード作成に係る経費

し尿処理費

汚泥再生処理施設

整備事業

210万円

し尿・生ゴミ処理におけるメタン発酵方式の資材作成委託料

特産品開発

西予新規特産品開発事業

162万8千円

ほわいとファームに付加価値の高い乳性特産品の開発を委託する経費

商工業振興費

原塩輸送支援事業

215万6千円

(株)伯方塩業(明浜工場)の原塩輸送船大型化による接岸経費増額に対する補助金



大型船入港(明浜町)

ケーブルTV

CATV整備事業

266万7千円

さくら団地への光伝送路施設整備に係る経費

衛生費

野村クリーンセンター

管理運営事業

354万9千円

ダイオキシン除去装置の切替弁の修繕費

住宅管理費

公営住宅管理事業

399万9千円

教育振興費

中学校研究指定校事業

46万4千円

中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校に、野村中学校(相撲)が採択されたことによる経費

質疑

本会議での議案についての質問



安定収入が期待される簡易ハウス

問 ケーブルTVはデジタル化に間に合うのか

総務部長 引き込み工事の際にNTT・四国電力の電柱使用申請の手間が掛かり、現在工事を急いでいます。アナログ放送が終了する7月には間に合います。

問 宮崎県の口蹄疫は終息宣言が出されたが、今後の対応は

市長 終息宣言が出て安心しておりますが、県とも連絡を密にして、原因究明と対応を協議してまいります。

補正予算

問 交付金・補助金等が一括交付金になった場合予算編成の影響は

市長 地方が自由に使えるのはありがたいが、3割削減の報道もあり国の政策を注視していきます。

問 小規模園芸施設支援モデル事業の内容

答

問 総合スポーツクラブ補助事業137万7千円の目的は

教育三瓶総合スポーツクラブ部長 三瓶総合型スポーツクラブが計画し



急がれる引込み工事

総務委員会

重伝建選定後のまちづくりは

陳情

「防災行政無線の早期更新と防犯灯に関する補助金について」

防災行政無線の更新は、無線設備の導入時期が早い地域では老朽化が著しいため、頻繁に修理が必要で、放送が聞き取りにくい現状です。
四国総合通信局からも、アナログからデジタルに移行するよう求められて

います。
防犯灯の補助金に関しては、現在、新設の防犯灯とその電気料は補助の対象となつていますが、修繕や更新及び個人や集落が単独で設置した防犯灯の電気料については、補助対象外です。
住民が安心、安全な暮らしをするうえで大切なことであると判断し、全会一致で採択と決しました。

決算認定

一般会計

三瓶地区のCATV加入状況は

8月末現在で1千675戸が西予市CATVと加入契約済みで、残り1千210戸は八西CATVへ継続加入の状況です。

現在の加入状態で西予市CATVの運営が出来るのか

宇和町の人口密集地や三瓶町の残り1千210戸が加入して貰えれば、投資分と併せて平成29年度には単年度黒字経営が出来ると思込んでいます。



雨の日曜日(宇和町中町)

スクールガードリーダー(危機管理の面から学校に対し指導と評価を行う人の必要性は

記憶に新しい大阪の池田小学校での事件がきっかけで、取り組みが始まった施策であり、当市では3人のスクールガードリーダーに学校の危機管理に対し意見を貰っています。

外部からみた意見や考え方が大切であり、内部の者では気がつかない点が多くあります。
国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた事により、そのエリアを充実させ、まちづくりを展開すべきではないか

職員の教育を図り、地域住民と協力をすると共に、商工観光課と協調し

厚生委員会 老朽化が進んでいるクリーンセンター

補正予算

野村クリーンセンターのダイオキシン除去装置の修繕は

当初は別の修繕であり、今回はダイオキシン除去装置の3つある弁のうち、2つの弁を修繕します。なお、他の1つの弁は平成20年度に既に修繕済みです。

クリーンセンターの耐用年数は

地元と平成20年に平成29年度末まで10年間の施設継続使用に係る延長契約を行っているが、施設の老朽化が進み、修繕を繰り返している状況で、明確な耐用年数は分かりません。
(意見)西予市の状況や広

域を含めた将来ビジョンを見据えて対応すべき。

保育所の保育室等の冷暖房は市全体で未設置のところは

三瓶地区以外には、多田と魚成が未設置で今後、当初予算等で計画的に検討します。

(意見)今年の様なスーパー猛暑ということも今後視野に入れて、全園全室に設置できるように対応すべき。

特別会計

簡易水道

多田簡易水道の料金が上がっているが地元の理解は得られるのか

今回の水道整備事業に

国民健康保険

国税の減収は

3月に税率改正を行ったが、景気の低迷等による所得減などが要因となり、7月の本算定では、予算額を大幅に下回りました。

決算認定

一般会計

西部衛生センターの汚泥を肥料化しているが、そ

れを無料配布できないか

無料化は難しいが肥料の在庫と照らし合わせて安価で販売できるように農林水産課と連携して検討していきます。

延長保育についての公立保育園対応は

要望があれば検討します。

(意見)働く女性が増え延長保育等が求められているので、きめ細かな対応をして欲しい。



宇和保育園

また、クアテルメ等の健康増進や維持を目的とした事業が国保会計等にごう反映されているのか

数字的な調査はできておらず評価は難しいしつかり目的を持って取り組むようにと意見がありました。



クアテルメ宝泉坊(城川町)

病院会計

ジェネリック薬品を積極的に使用し負担軽減を図っている自治体もあるが西予市の状況は

薬局長や医師と相談し使える薬品に関しては切



病院の受付

り替えをし、患者の意思を尊重して対応しています。

(意見)今回の決算審査は決算書と成果報告書、各課提供資料を元に行ったが、成果報告書の中で事業評価や成果状況の欄の内容が乏しい部分が見られた。このことは昨年も同様な報告が上がっており、来年度からは見直し、解決するように求めます。

ながら、プロジェクトチームを立ち上げ、まちづくりに繋がる事業展開を推進する予定です。
救急出動時において、緊急搬送の必要性がない患者もいるのではないかと
救急要請があれば出動するのが原則であり、現場で軽症にみえても、搬送中に重篤になるケースもあり、判断が難しい。
(意見)現在問題視されている救急車の不適正な利用や、医療機関のコンビニ受診等の減少を図ることや、さまざまな生活の安心、安全を守るためには、人間のモラル向上を図ることの教育も必要なのかなと感じさせられました。

産業建設委員会

指定管理者のあり方を問う！

修正予算

老朽化した市営住宅の改修は

部分補修を行っておりませんが、補修経費増大しており、市のマスタープランに沿って平成24年度野村町緑が丘団地を、その後、宇和町経の森団地も早急に改修してまいります。

簡易ハウスで増収につながるのか？

産直等に出荷を目的とした、小規模高齢者農家を対象にしたモデル事業であり、冬場等に不足する野菜を安定して供給出来るようになり、増収につながるかと考えております。

補助金が1/2または5万円だが全額補助には？

どうしても必要なものと判断した場合以外は市農業振興対策事業補助金交付要綱で1/2または1/3の補助と決めています。

木質ペレット工場入り口の橋の強度は

昭和53年完成の橋で設計では14tまで可能であるが、道幅の狭いところもあり4tトラックでの搬入・搬出を考慮しており強度的には心配ありません。

木質ペレット原材料搬入の補助は

県からt当たり9千600円の補助があり、市の要綱に照らし合わせて、地域通貨券等を検討している。



集落排水施設管理棟(宇和町永長)

集落排水事業の施設管理費は

今後、農業集落排水の修繕費が増える事が予想され、下水道料金の改正を含め来年度以降シミュレーションをかけて5年単位で見直しを図りたい、また、ポンプ等の故障の場合は早急に対処しなければならぬので一般会計からの支出になります。

決算認定

三滝ロッジ管理事業の宿泊者数が減っているのは

主な原因として景気後退による宿泊者の足が遠のいた事、また、指定管理者である(株)城川自然ロッジの運営が、予約のあるときのみ営業しており、宿泊者がいない時は常駐していない事等が考えられ、今後、指定管理者について検討します。



三滝ロッジ(城川町)

決算で利益が出ている指定管理者には、決算に見合った委託料、補助金にすべきでは

税金を使った委託料、補助金ですので、経営状態を把握しながら、無駄のない適正な対処をしてまいります。

西予市し尿処理場問題等特別委員会

汚泥再生処理、或いはメタン発酵による液肥の製造、どちらの処理方法が西予市にとって最良であるかを判断するための調査研究に係る委託経費、210万円を原案どおり可決。附帯意見として、西部・東部衛生センターは両施設とも著しい老朽化が進んでおり、処理方式、建設候補地の選定を早急に行うよう要望した。



東部衛生センター(野村町)

西予市宇和病院問題等特別委員会報告書(抜粋)

平成21年9月25日第1回委員会を開き、以後開会中閉会中において、平成22年9月17日の委員会を最後として、計11回の委員会を開催した他、市内行政視察3回、県外行政視察、病院関係者等との意見交換会を実施いたしました。

新病院の建設に向けての推進体制づくりについて、議論の中、財政規模について150床程度で47億程度とし、財源として過疎債、企業債、地域医療再生基金、その他とすることとした。

完成までのスケジュールについては、財源である地域医療再生基金の使用可能期間とすることとし、平成25年度までには着工することが必要であると判断いたしました。

病院建設場所について

新市立病院建設地検討委員会の答申、また市民アンケート調査結果・パブリックコメント等をふまえ、慎重に討論し、その結果新病院の完成を早く遅滞なくするためには、「宇和町永長地区東池跡地」が適地であると判断しました。なお、宇和病院跡地の有効利用については検討の必要があります。

宇和病院と野村病院との機能分担についての調査・研究について

新病院建設を進める中で、県の地域医療再生計画で求められている新病院への二次救急の集約と野村病院での地域医療機能の充実を図り、早期に医師確保に努め市民が安心できる両病院での機能分担による医療体制を構築する必要があります。

なお、新病院の完成後人口減などによる社会的要因による変化、関係機関の医療制度の改革等を

見極めながら数年毎の機能分担の見直しが必要と判断いたしました。

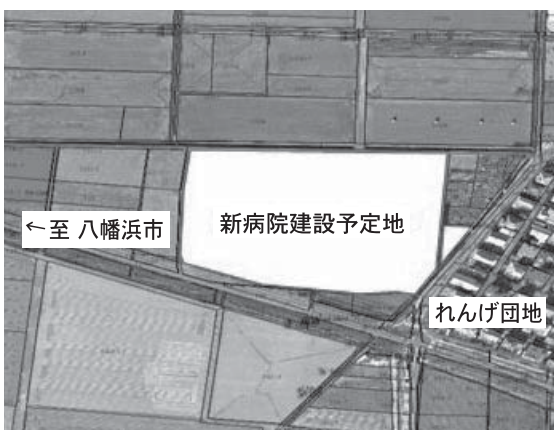
直営診療所の統廃合についての調査・研究について

診療所の再編については、各診療所も高齢化率の高い地域であり、財政運営状況の厳しさはどのあたりまでが許されるのか、市民の意見を集約し、市民・医師も参加協力できる行政の改善努力を必要とします。また、新病院の建設を見定めながら弱者への通院バスを含めた対応計画も考えていくべきであります。

以上で、西予市宇和病院問題等特別委員会の報告を終わります。

予定地選定の経緯について

平成21年12月7日定例議会において、早急に宇和病院の建て替えが必要であることを報告しております。国の地域・医療基

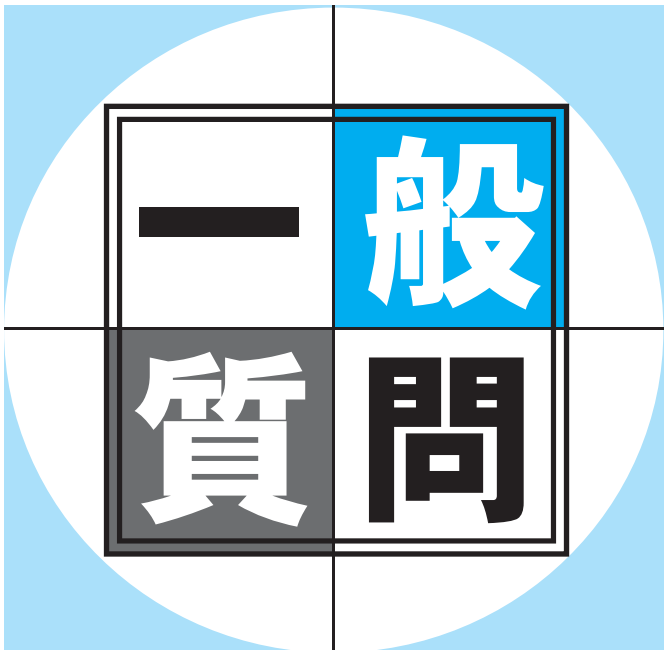


新病院建設予定地

金枠を使って建てる場合(4億5千万円)においては、平成25年度までには着工しなければなりません。当委員会としては、平成25年度までに着工可能な場所、広さの確保、交通の便、将来の西予市の中心核病院としての役割機能、周辺環境等を参考に、予定地を「現市立宇和病院」「永長地区東池跡地」「市営宇和球場」を候補地として、現地確認・比較を調査いたしました。

委員会の答申、市民アンケート調査結果、パブリックコメントを参考に、「現市立宇和病院敷地」については建設場所として難しいのではないかとこの結論に至りました。その後、候補地の協議・検討を行った結果、どちらも甲乙付けがたく宇和球場とした場合、球場の代替地、地元合意の事前協議を必要とし、都市計画変更・都市公園廃止の手続きなどで次の開発許可申請等の作業が遅れ、平成25年度までの着工が危ういと判断いたしました。

その結果、当委員会としては「永長地区東池跡地」が適地であると判断いたしました。



収穫の秋

それぞれ思いは実るか



元親 孝志
議員

質問 林業再生で活性化を

であり、積極的に取り組む考えである。

問 林野庁が公表した「森林・林業再生プラン」について、理事者の感想は

市長 再生プランの背景から将来への国産材需要の高まりが期待できる。西予市に風が吹き始めたこと認識している。この再生プランは効果的

問 林業の町とし本格的に取り組む上において林業課を設置してどうか



問 今後『森林・林業再生プラン』を实行する上で最も厄介なのが、山林所有者の確認と隣地境界線、その後の団地化の同意の取り付け作業である。その為には、行政の持つ個人情報提供、及び行政のサポートが必要不可欠では

産建部長 森林・林業再生プランの動向を考えながら、市職員が出向できる組織を考え、不在村地主の解明、個人情報及び行政サポートが出来るよう検討してまいりたい。

よう、概ね10年後の農業経営の発展の目標を明らかにし、効率的且安定的な農業経営を育成することといたします。農業者が地域における他産業者並の生涯所得に相当する、年間農業所得概ね380万円、農業従事者一人当たり年間就業時間2千時間程度の水準を実現できるものとし、これらの経営が本市の農業生産の相当部分を担う農業構造の確立を目指します。

問 市の農政・農業に対する理念は

産建部長 西予市を沿岸部の地帯、農山村地帯に大別して考え、農業が職業として選択しえる魅力と遣り甲斐のあるものと成る



小野 正昭
議員

質問 中・長期財政の見直しは

策により定額給付金事業、地域活性化生活対策、経済危機対策臨時交付金事業等の景気下支えのための経済対策等交付金が、主な要因です。

問 中長期財政見直しで、仮試算とは言え、平成21年度の歳入、歳出の実績額が大きく異なる要因はなにか

総務部長 平成21年度の歳入、歳出が仮試算と比較して大きく増額となった要因は、国の緊急経済対

問 21年度決算によると、職員が減少(退職者)の二分の一採用)したにも拘らず昨年度より人件

問 財政力向上、自主財源確保のため、女性

平成21年度決算状況		人口密度		産業構造	
人口	面積	人口密度	人口密度	第1次	第2次
H17年 48,988人	6,071km ²	8.07	8.07	4,801	4,474
H18年 47,217人	6,071km ²	7.78	7.78	4,801	4,474
増加率 -3.4%					
H22.3.31 43,586人				22.7	21.2
H21.3.31 44,127人				22.8	21.8

区分	平成20年度	平成21年度	区分	種別	指定区域の状況
歳入総額	23,834,185	29,129,930	交付税	1-1種地	12,248,370
歳出総額	23,044,233	28,460,883	標準財政収支	広域市町村圏	3,186,027
歳入歳出差引額 (A-B)	789,952	669,047	標準財政収支	山間部	16,129,721
実質収支 (C-D)	147,314	169,081	財政力指数	特定農山村	0.27
単年度収支 (E-F)	622,638	499,966	実質収支比率		3.1%
単年度収支			公債償還率		9.8%
積立金			経費削減率		8.9%

刑務所の誘致を促す事により、雇用の確保(100人~200人)又、人手不足を補う農林業等への体験労働の導入、食料品はもとより、あらゆる物品の消費が増大する事に伴い、地域活性化のためにも女性刑務所誘致の考えはなにか

市長 施設の需要が高まっており、地元住民の雇用や地域経済の活性化、刑務所職員、その家族、受刑者が住民登録されるため、人口の増大による地方交付税の増額が考えられますが、地元住民の理解が必要など課題も多く、現時点では誘致の検討は考えておりません。



嶋川 武文
議員

質問 政治倫理の見直しは

確立を図るべきでは

問 市長はじめ政治に関わる者は行政議会業務に携わる前に法的規制はもとより、道徳倫理が問われます。

西予市政治倫理条例は設置しておりますが、設置してありますが、設置法といわゆるをえませんが、審査会の設置もありません。再度政治倫理の

副市長 まず、議会内部で検討、協議いただきたい。市の理事者としては、議会の検討内容と歩調をあわせて、市民からみて不適切と思われるような状況があれば適正に対処でき、誰からも疑念を抱かれることのない、

政治倫理の遵守徹底に効果的な制度を構築したいと考えておりますので、是非その任は、議会に御願ひ致します。



西予市政治倫理条例	
平成17年3月29日 条例第31号	
改正 平成19年3月16日条例第2号	
(目的)	
第1条 この条例は、市政が市民の厳粛な信頼によるものであることを認識し、その信頼に応えるため、市議会議員(以下「議員」という。)並びに市長、助役及び教育長(以下「市長等」という。)の政治倫理に関する規律の基本となる事項を定めるとともに、贈収賄罪による措置及び市工事等の請負に対する遵守事項を定め、市政に対する市民の信頼に応え公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的とする。	

(現)倫理条例



二宮 一朗 議員

質問 予防ワクチンの公費助成は

重に検討します。

問 ヒブ・肺炎球菌の公費助成は

福祉 部長 何れも接種費用が高額なため市単独の公費助成は難しい状況です。

問 ホームページの充実について

総務 部長 情報発信については、多くの皆さんに利用していただけるよう、関係部署と連携し、情報掲載に努めます。また、市民の声は昨年4月の開設以来17件の投書をいただいている。なお、担当課へ

の質問は、平成18年度113件・平成19年度102件・平成20年度144件・平成21年度164件・平成22年度68件となっております。

問 新庁舎に総合案内を設置しては

総務 部長 専任の総合案内係を配置するよりも、各窓口担当者が積極的に来庁舎に声を掛けるよう徹底した方が効果的のため、配置する予定はありません。

問 子育て・少子化対策として3人目の保育料無料化は出来ないか

福祉 部長 平成21年度から国の基準は無料になっており、本市では入所者には多少なりとも負担が必要と考え10分の1を継続しております。県内各市の状況では、本市以外は全て無料になっており、来年度より無料化を

検討します。

問 新たな過疎対策事業の方向性は

総務 部長 平成22年度から平成27年度までの過疎地域自立促進計画案をとりまとめ、県との事前協議を進めている。これまでの取り組みと、新たな過疎対策ソフト事業による連携と調整により、地域の活性化と自立促進を図りたい。

問 子宮頸がんの公費助成は

福祉 部長 国が示した事業費150億円で接種費用の3分の1が国庫補助されると見込まれます。個人負担分の助成については、財政事情や副作用の問題などもあるため、慎重に検討します。



沖野 健三 議員

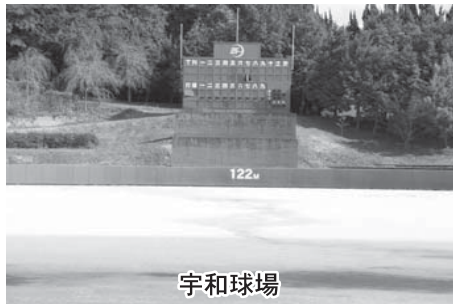
質問 愛媛国体の施設整備は

問 国体ソフトボール招致に伴う今後の取り組みについて

教育 部長 国体P.R事業として「ソフトボール教室」を行うなど、ソフトボールの普及と競技力の向上を目指したいと考えております。

問 市外スポーツ団体の市内合宿に対する補助金の交付について

教育 部長 交流人口の増加や地域活性化など様々な経済効果を目指した支援制度について、今後検討を重ねていきたいと考えております。



宇和球場

問 宇和球場及び宇和運動公園多目的広場の改修計画について

教育 部長 平成24年度から平成26年度にかけて改修を行い、平成27年度には施設整備を完了し、平成28年度に本番に向けたりハーサル大会を開催する計画であります。

教育 部長 教育委員会といたしましては、新宇和球場の建設を検討しなければならなくなると考えております。

問 宇和球場が新病院建設地に決定した場合の計画について

総務 部長 職員員の通勤時間や運行路線を優先して市の所有するバスを利用することは非常に困難かと思われま。



国体に向けて準備が進む乙亥会館(西の国技館)



坂本 隆重 議員

質問 地球温暖化対策を早急に

問 地球温暖化対策は、バイオマス事業と平行して温室効果ガスの国内排出量取引制度への取組は

福祉 部長 国では、この温暖化対策として、京都議定書目標達成のための施策の強化に加え、エコ

ポイントの活用、グリーン家電普及促進事業、エコカー補助金など種々の対策を実施している。森林は大きな役割を果たしていることから、本市では「バイオマスプレット生産利活用促進事業」や「美しい森林づくり基盤整備交付金事業」によって森林による二酸化炭素の吸

収機能や木材利用による新たな経済価値を可能な限り見出し、林業の振興、地域の活性化に努めたい。

問 太陽光発電は、世界の市場としては500兆円規模というが、産官学が連携し企業を起こす組織や知恵と経営能力を持つ人材の育成は

総務 部長 太陽光発電に限らず、地域が有する様々な資源の活用を産業起こしや温暖化対策に結びつ



設置されたソーラー

ける考えは、これからの地域づくりを考えていく上で非常に重要なことと思う。地域づくりには、人材を含め地域の総合力が求められますので、今後とも各種の施策を推進する際には、産官学の連携と体制づくりを視野に入れ、調査研究を進めていきたい。

問 高齢者住所不明問題は、住基ネット、年金、戸籍等、担当課への

連携が取れているのか

福祉 部長 住民基本台帳の記録の正確性を確保するためには、住民は、住民としての地位の変更に伴う届出を正確に行うこととされています。住民からの各種届出がなされたものについては、住基ネット上あるいは紙ベースでの異動確認票により関係各課それぞれの係りへ周知できるシステムとなっております。

問 高齢者の買い物対策としてタクシーチケットの配布ができませんか

総務 部長 買い物困難者の生活支援として捉え、福祉政策と連携しながら地域公共交通総合連携計画の策定過程で検討し、日常生活を支える公共交通作りを努めたい。

質問 投票所削減の影響と対策は



清 松山 議員

問 今年7月の参議院選挙から投票所が削減され、その影響をどう把握し、今後の投票率低下への対策をしておくのか。また、統廃合で投票所までの距離が遠くなった地域では期日前投票の充実が計れないか

総務 部長 投票率は、市内27投票所の内23カ所まで前回より下回ったものの、県内11市の中では最も高い投票率でした。今回、9カ所に1日又は半日の期日前投票所を増設しましたが、非常に高い効果があったので、様々な条件を検討し、十分な対策をしていきます。



期日前投票所

問 バイオマススタウン構想によるベレット工場が今年度建設されるが、その販売・利用促進の具体策は。一般市民がベレットストーブを購入する際や農業用ビニールハウスの暖房設備など補助の考えはないか

産建 部長 販売は「どんぶり館」他で小売り袋詰め20kg程度を想定しています。ビニールハウスの暖房設備は購入価格の1/3

福祉 部長 実態調査をして全問題ありません。

総務委員会

岩手県遠野市

昨年12月に宇和町卯之町中町通りが国の重要伝統的建造物群の選定を受け、今後どのようにまちづくりを活かすか。

「遠野物語は明治43年農商務省の柳田國男に佐々木喜善が遠野の話をしたことから誕生したもので、不思議な話が119話まとめられている。

発刊100周年にあたっての記念事業と、情報発信(博物館のリニューアルや漫画家水木しげるのキャラクタターの活用など)を展開し観光客増加の数値目標を設定している。

また、プロジェクト推進室を設置し、平成21年度から24年度までの事業を予定していることからこの事業への意気込みを感じられ、当市にもその必要性を感じました。

宮城県気仙沼市

市街地循環バスと接続す

る生活路線バス及び他の交通機関との乗り継ぎを円滑にするネットワークシステムの構築

運行はバス会社に委託、運賃は初乗り130円、上限200円で、1日乗車券は500円に設定されており、実証運行を今年度行う予定。ゾーンデマンド型乗合タクシーの導入を計画

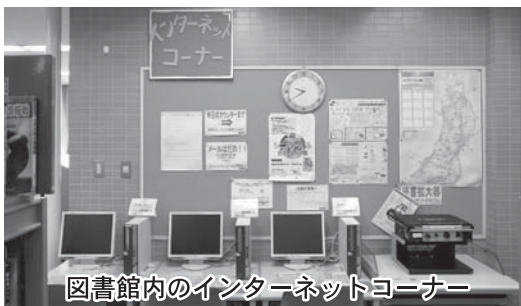
少ない需要に対応できるようなゾーン設定を行い、経路は設定せず、需要に応じて各戸を回る形で運行時間帯を設定する。平成23年度から実証運行の開始を目指す。

西予市も同じ状況で、平成23年度には交通係を新設する計画もあり、交通弱者の足を確保するため西予市版、公共交通の仕組み作りが急務。

宮城県東松島市立図書館

読書を推進するため、

図書館司書、読み聞かせボランティアや学校教諭、保健師、で講座や講演会などを開催し、読書の大切さを啓発している。



図書館内のインターネットコーナー

合併前には、文部科学大臣表彰も受賞している。西予市でも、ボランティアによる読み聞かせを各小学校で実施しているが、読書はなれの現在、どうすれば読書時間を増やせるか目標をたて、子どもたちから思考を豊かにする読書の習慣化を目指すことが必要であると感じました。

厚生常任委員会

岐阜県美濃加茂市の蜂屋川クリーンセンター

民間会社が汚泥を燃料とする熱分解給湯装置を開発し、それを受け美濃加茂市は、技術の導入を検討し、両者が協定を取り交わし今年度から本格的に研究を進めている。

この技術は場外搬出にかかるコストの削減やCO2排出量の軽減ができており、汚泥ペレットを燃焼させる際には2割程度助燃剤木質ペレットも使用していた。



新技術のし尿処理施設(美濃加茂市)

西予市では、汚泥処理の検討の中で、ペレット化の可能性も視野に入れていく必要があると感じた。

桑名広域環境管理センター

処理を浄化槽汚泥対応型膜分離高負荷生物脱窒素処理方式+高度処理方式で行っている。理由は、汚泥の混入比

率が高く稼働後も増加が予想された、必要水量が少なく放流先への影響が少ない、建築面積が縮小化でき安価ですむ等で、使用する膜の取替えを自らの手で行いコスト削減も徹底していた。

汚泥は堆肥化し地域の住民に無料配布(1人5袋上限)。

また、2施設共に公園等を取り入れイメージアップを図るほか、地域住民に開放し理解を得ていた。

郡上市民病院

建設に際しては院長、事務局長、元事務局長等の現場の意見が大きく反映されていた。

機器は、入札を撤廃して交渉を行い、経費軽減を図っており、トイレ数の減・ペランダの設置・エレベーター数を最小限にすることにより、徹底したコスト削減を行ってお

り、どこに視点を置くかが重要であると感じた。医師確保は岐阜大学と連携し、院長以外の30名の医師は岐阜市から通勤している状況で、住まなくても通勤してくれば良いという院長の判断が大きく感じられた。

また、自治体病院なので緩和ケアなどの不採算医療にもしっかりと取組み地域医療の原点なるものが垣間見えた。

産建委員会

和歌山県御坊市の和歌山県農業大学校就農支援センター

就農希望者に相談や技術研修を行い、農家で実践研修を受け5カ年の就農計画を立て認定されれば、国や県から、様々な支援が受けられる。

新規就農者は平成21年度では193名と約3割増加しておりこれは、リストラや定年退職した人が実家を継ぐケースが増えたことによるが、今後は不透明である。

西予市では、条件は和歌山県より不利なことが多く、これまで以上に支援体制を強化する必要があると思う。

三重県大台町 道の駅

(奥伊勢おおい) ここは、大宮大台インターから5分程度と近く、地域の中心街に位置する。食堂は仕切りがなく入りやすく、特に鹿肉のご当

地バーガー、お茶を入れたパン等があった。

高速道路の尾鷲市までの開通を見こし、大台町と大紀町が共同出資して、高速道路に奥伊勢パーキングエリアが建設されていた。

西予市でもどんぶり館の改修や、西予宇和サンプラスエアとスマートインターチェンジを県に要望する等で、広く市外へ販売できる施設づくりの必要があると思う。

三重県伊勢市の伊勢市まちづくり市民会議

7つの分科会の中の産業分科会での、伊勢ブランド認定制度は神宮の鎮座のまちとすることを用いし、付加価値をつけ、伊勢の地・技術で作られ世界に認められるブランド力の創出を進めているが、高い目標のため認定には至っていない。商店街では空き店舗が

増えたため、空き店舗対策活性化事業を行い、59店舗の参入があり、現在29店舗が継続営業をしている。

参入者のために常時空き店舗を3つ確保しているが、確保が難しくなっている。

宿泊客をホテルからバスで商店街に運んだり、商店街の中に「軽トラ市」を開催する等ユニークな事業もあった。

西予市でもアマト口豚三瓶のハーブ暖ひらめ等があるが、販路拡大を推し進め、西予市独自のブランド開発が必要と思いました。



就農支援センターでの研修

議会運営委員会

京都府精華町と京丹後市の議会基本条例

「議会基本条例」制定の背景は

精華町では、第2次町村議会活性化研究会が最終報告を提出し、「議会の存在」への危機感が高まった。

京丹後市では、平成16年に6町が合併したが、財政は依然として厳しく、市民から「議会は何もしないのか」との批判もあり、検討が始まった。

『議会基本条例』の制定に対して、議員の反応は

一部には、改革の必要性を認めながらも、条例化までは...という意見は確かにあった。

条例制定に要した期間と苦労をされた点は

両議会とも検討会設置から議決までに約1年を要し、全議員の合意形成と住民への説明、市長部

局との執行権と議会の議決権の意見調整に苦労した。

議会基本条例の制定により、何が変ったか

委員会・議会活動の方向性が明確になり、議会広報の内容充実、インターネット中継、議会報告会等によって、住民との関わりが増え活動が活性化した。

行政側との関係や整備資料が規定され、議員と行政側との個々のやり取りが減少した。

地方自治法第96条第2項の議決事件とは

これまでは、国保運営協議会等に議員が参加し審査が形骸化していた。これを打破すべく、行政傘下の審議会委員の撤退と議決権の拡大に取り組んだ。ただし、この権限を規定する前提として、議会



京丹後市の議場

が議決対象の各種計画に対して理解を深め、責任ある決定ができる能力を備える必要がある。議会改革が進んでいる点は、情報公開の徹底、一般質問が3日間に亘り大半の議員が行う、各常任委員会の開催日数が多い。今回研修に対応された議員が、確固たる信念を持っていてことに驚いた。議会基本条例が単に時代の流れ(流行)として受け止めるのではなく、議会基本条例が求めているものは何か、またその先に何があるのか、西予市議会としても十分に研究してみる価値があると思

大型決算はどう活かされたか

歳出総額 平成21年度 決算認定

一般会計 284億4,889万円
特別会計 132億3,472万円



県議会室での研修風景

主な事業は

9月定例会では、一般会計・特別会計が市の活性化や市民のためにどう活かされたかを、総務・厚生・産業建設の各常任委員会で審査いたしました。国では、事業仕分けが注目されていますが、西予市では、平成18年より、それぞれの事務・事業を分析・話し合い、事業そのものを廃止したり、縮小したりし、財政運営の適正化に努めたところ。主な事業は、庁舎建設事業(総事業費約24億円)・CATV整備事業(約33億円)・宇和中学校体育館建設事業(5億6千万円)・市内学校の耐震診断・地域雇用創出推進事業等である。庁舎や体育館は大手業者と市内業者でJV方式が導入されたことは評価したが、雇用対策は緊急避難的措置であり、今後対策をどうするか注視する必要がある。

特別会計

特別会計は、授産場・住宅新築資金貸付・育英会奨学金貸付特別会計の他、主要な特別会計の執行状況を紹介します。

- ▼国民健康保険事業勘定 未納額が1億1千31万1千円あり、前年対比では収納率が向上しているものの、二層の収納率向上に努められた。
- ▼市内の10箇所の診療施設勘定は、5億1千787万9千円であるが、黒字の診療所もあるが、一般会計からの繰入額は1億316万1千円であり改善が望まれる。
- ▼老人保健後期高齢者医療では5億7千987万9千円であるが、益々高齢化する本市にとっては重要課題となる。
- ▼介護保険は、46億1千220万8千円と支払額も大きい。実質収入は、国・県支出金18億9千729万2千円(40.8%)・支払基金交付金13億1千440万6千円(28.2%)である。今後とも増加するであろう介護保険。当市にとっては大きな課題と言えよう。
- ▼簡易水道・農業集落排水事業、公共下水道事業は合わせて、17億980万6千円であり、これらの事業は順調に推移していると言えよう。



建設が進む新庁舎



完成した宇和中体育館

議会活動として決算審査あり方研修

9月定例会における重要な審査は、決算審査であり、全議員で学習会に臨んだ。

講師は薬師寺県議の紹介で、今年3月まで県庁に勤務されていた、境石元監査事務局長から研修会の冒頭、皆さんも当然理解されていると思うが、審査の視点は議決した予算が適正に執行され、しかも効率的に使われているか、その成果や課題について審査し、次年度予算に反映できるように審査すべき。

市の財政力は万全？

区分	平成20年度	平成21年度	説明
公債費比率	10.7%	9.6%	一般的に10%を超えないことが望ましく、15%を超えると要注意と考える。
公債費負担比率	20.7%	18.9%	15%以上が警戒ラインで20%を超えると危険ラインとされている。
実質収支比率	4.0%	3.1%	財政運営の健全性を判断する指標で、標準財政規模の3~5%が望ましいと考えられる。
財政力指数	0.28%	0.27%	数値1を基準に財政力を判断する指標で、超えた場合、普通交付税の不交付団体となる。

・市民一人当たり借金 約96万円
(国民一人当たり借金 約874万円)

【着目点】
一、過年度決算とも比較してみる。
二、他の市(同じ規模)状況や、県等とも対比してみる。
三、基準値(目標)と決算の状況比較。

収入は確保されているか、無駄はないか、不用額はどうか、効率性はどうか等多面的な角度から審査する必要があるということを示し、具体的事例を示し、指導を受けた。

チェック・チェック 監査意見書より抜粋

一般会計及び特別会計決算審査意見書の「むすび」の中で、それぞれ予算の目的に沿って適正に執行されているが、なお、今後の対応や検討課題の概要は次のとおりである。

- 一、普通会計における公債費負担比率は、年々改善されているものの、高比率で推移しており、予算編成に当たっては慎重に対応すべき。
- 二、農林・土木費等については、翌年度総繰越額が大幅に増加している。今後十分注意し適切に対応されたい。
- 三、国保特別会計(診療の医療体制を考慮の中で診療所の在り方について地域の実情を踏まえて総合的に検討すべき。
- 四、収入未済額(滞納金)について、減少傾向にあるが、公平性の観点から法的処置も含め、収納率向上に努められたい。
- 五、財産に関する調査では、前年度の株券の指摘事項を踏まえ改善されており、今後とも、その取り扱い及び管理には十分注意されたい。

企業会計

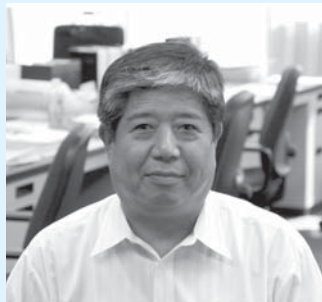
西予市病院事業・西予市野村介護老人保健施設事業があるが、特に市民の命を守る市立宇和・野村病院は、医師の献身的努力等によって、厳しい環境にありながら、黒字経営は評価できる。西予市上下水道事業は安定供給に成果をあげている。

●上水道事業会計のうち、水道料金の未収金については、収納率が向上している。

●西予市病院事業会計は、医師不足と患者数の減少で、深刻な状況である。医師の確保や地域医療の充実等病院経営の確立に努力されたい。

西予市監査委員 正司 哲浩
西予市監査委員 嶋川 武文

国の財政が心配



嶋川 武文

先の新聞報道によりまずと、財務省が8月10日発表した2010年6月末の国債や借入金などをあわせた「国の借金」は90兆772億円となり、900兆円を初めて突破しております。この高い増率によりまずと10年度末には973兆円、11年度には1千兆円の大台も視野に入るようです。長期金利は低位安定しているものの、財政は悪化する一方です。10年度予算もなんと44.3兆円の国債発行で賄う計画です。このような財政難では、将来が危惧されます。

推移しているのは、国債の9割以上を国内の投資家が保有しているからだと思います。しかしその国内の余裕も限界に近づいているようです。ギリシヤの二の舞にならないよう政治家が、その使命を負わなければなりません。与党であれ野党であれ、それを期待をするものです。

しかし、その対策はハイパーインフレか、増税しかないようです。ハイパーインフレは現実的ではありません。残りは削減と増税となります。残念なことですが、近い将来、必ず消費税を含めた税の抜本改革と大増税がやってくると思わなければなりません。私はかつて、北欧諸国のような高負担、高福祉政策には必ずしも、賛成ではありませんでした。しかし、最近では富める者



松葉寮(宇和町)

もそうでない者でも、等しく最低限の老後の生活保障などの福祉の充実は、必要だと思ふようになります。また、

これから予測される大増税は、必ずしも高度の福祉に使われる訳ではありません。今まで先送りされたツケの処理の色彩が強いものです。残念です。もっとしっかりしてほしい政治家に…。

自由発言

今昔、最近に同級会がありました。小学校・中学校各一名の先生が出席していただきました。私は一年間しか…私は三年四年しか…との言葉。しかし、同級生の私達



恩師と出会って

梅川 光俊

は卒業して五十年間待ち続けた先生だった。小学校の時の優しさを教えてくれた。中学校では厳しさを教えてくれた。私は必ず議員生活の中でいつも対比しながら、思い切った切り替え、原点等思う時に二人の先生のことを考える。

私は何のために、誰のために、本当にできるのか、これで良いのか、正しいのか、本当の優しさ、本当か…との言葉。いつまでもお元気で…



H22.9.5日宇和みよしにて

俵津ソフトボールリーグ 理屈抜きに楽しんでいきます

和気あいあいと、下手でも仲間と一緒にソフトボールを楽しむ…そんな集まりの俵津ソフトボールリーグです。

我々は額に汗して働く住民(青年)である。

我々は何よりも、まず自ら理屈抜きに楽しむことを目的とし、併せて体力を増進させ、友情と親睦を深める中で連帯し、明日への地域発展の原動力を作っていくことを目的として、このリーグを設立する。

…という文言が、当リーグ要綱の「目的」に掲げられています。リーグ設立から三十数年が経過していますが、今なお同じ志を持ってソフトボールを楽しんでいると思います。勝っても負けても、試

合後の反省会(ただの飲み会)を各チームで行っており、友情と親睦はかになり深まっていると思います。

ただ飲んでいるだけではありません。飲み会の中で、「学校の運動場を使用させてもらっているんだから、草刈りくらいせよんかな」という発言があり、年二回の草刈りをリーグ会員で行うようになりました。(なんて意味のある飲み会なんでしょう！と自画自賛。)

この楽しいリーグも、ここ数年は高齢化によって、会員数・チーム数が減少傾向にあります。限界集落云々と言われる昨今、その一歩手前まできているんだと感じますが、設立当時に掲げられた要綱の目的を胸に抱き、可能な限り、このリーグに参加して理屈抜きに楽しみたいと思います。



プレイボール

リーグ会員の最高齢者が64歳、最年少が20歳。執筆している私は40手前。まだまだ中堅、やらねばならぬ…。

五つ鹿の指導を始めて思ったこと…

まわれまわれ水車…五つ鹿踊りの歌声と、太鼓の音が響き始めると、秋祭りが近づいたなと感じます。

この五つ鹿、私たちの地域では、中学生が舞い踊るのですが、私も中学生の時に踊ったひとりです。

俵津の五つ鹿は、同じ者が三カ年踊る流れで、私たちの次は三つ下の年下の者が…というサイクルになります。

そのため、この踊りや唄を知る者は少数に限られてしまっています。数年前、五つ鹿の指導をされていた先輩が、体力的な問題もあり、「指導を次の世代の者に交

代してほしい」といわれ、私が指導を行うようになりました。指導を始めたばかりの頃、指導体制の充実を図ろうと、公民館主事に頼んで、五つ鹿の経験者が地元にはいないか調べてもらいました。しかし、多くの若者は地元に残っており、自分が指導しているか不安になったのを思い出します。今では数名の協力者の支えもあり、負担が軽くなりました。

しかし指導するということはなかなか大変で、特に一年生時はゼロからの指導になるため、自分がやる方が楽だと思ふこともあります。今年のメンバーは三年目で、今回が最後の五つ鹿です。次に回ってくる学年の男子は四人しかいません。このままでは、私たちの



子ども五つ鹿

地域の五つ鹿も、いつか途絶えてしまうのではないかと危機感を抱き始めました。指導者にしても五つ鹿を踊る子どもたちにしても、これからその確保がさらに厳しくなると予想します。神社総代や関係各機関へ相談し、この度五つ鹿踊り保存会を立ち上げます。私も昔、五つ鹿を踊った一人です。何とかこの風習を途絶えさせないようあがいてみようと思ふます。

市民の放課後